

長野県がん診療連携拠点病院 としての機能・体制



本日の発表内容

- 診療実績
- がん総合医療センターの組織・活動内容
 - 臨床腫瘍部(通院治療室、がん登録)
 - 緩和医療部(緩和チーム)
 - 研修部 (院内がんサーボードなど)
- 患者支援・地域連携
- 今後の方針

診療従事者数



平成22年11月1日現在

職 種		常 勤	非常勤(有期)	合 計
医 師	教 員 (病院所属)	88		88
	教 員 (医学部所属)	86		86
	准教授 (特定雇用)	2		2
	助 教 (特定雇用)	24		24
	助 教 (診療)	37		37
	医 員		190	190
	研修医		62	62
	小 計	237	252	489
看護 師	看護 師	615		615
	准看護 師	2		2
	小 計	617	0	617
医療 従事 者	臨床検査技師	24	16	40
	臨床検査技師(特定雇用)	3		3
	診療放射線技師	20	12	32
	薬剤師	21	17	38
	管理栄養士	2	3	5
	臨床心理士		1	1
	社会福祉士	2		2
	社会福祉士 (特定雇用)	1		1
	診療情報管理士	1		1
	小 計	74	49	123
合計	928	301	1,229	

3

信州大学附属病院におけるがんの診療実績数 (2009年度)

がんに関する年間患者実績(平成21年度の患者数)

区 分		膵がん	胃がん	肝がん	大腸がん	乳がん	子宮がん	その他のがん	
患者数	平成19年度	外来	671	359	459	346	974	541	4,154
		入院	276	95	273	107	158	178	1,200
	平成20年度	外来	644	392	461	354	952	602	4,369
		入院	298	108	245	86	143	163	1,256
	平成21年度	外来	740	398	454	377	974	637	4,771
		入院	267	110	234	93	127	149	1,349
病 理	平成19年度	外来	33	109	4	55	33	65	410
		入院	190	93	85	78	147	152	873
	平成20年度	外来	55	127	3	70	52	94	477
		入院	187	85	69	80	107	130	845
	平成21年度	外来	27	83	1	43	39	108	341
		入院	200	107	77	115	137	141	978
手 術	平成19年度	122	97	82	59	115	57	547	
	平成20年度	128	81	64	79	87	59	677	
	平成21年度	129	92	70	78	103	75	739	

H21年度の患者数総計は10,680例、手術は1,286例(延べ数)

単独治療のがん治療件数(2009年度)

がんに関する年間診療実績(平成21年度の症例数)

部位	単独治療						小計
	手術			化学療法	放射線治療	その他	
	外科的手術	鏡視下手術	内視鏡的手術				
肺	8	82	0	124	36	0	250
胃	24	7	42	34	1	0	108
肝臓	30	0	0	46	7	40	123
大腸	40	11	7	44	2	0	104
乳房	18	0	0	397	42	0	457
子宮	49	0	0	49	17	0	115
胆嚢・胆管	7	0	14	34	0	0	55
すい臓	4	0	5	39	0	0	48
リンパ組織	10	0	0	67	19	0	96
白血病	0	0	0	67	0	0	67
食道	15	0	11	6	12	0	44
頭頸部	68	0	0	21	95	0	184
脳神経	42	0	0	23	14	0	79
泌尿器	65	9	39	210	52	0	375
卵巣	12	0	0	46	2	0	60
骨及び軟部組織	26	0	0	31	31	0	88
皮膚	66	0	0	7	9	0	82
その他	15	0	0	84	19	0	118
合計	499	109	118	1,329	358	40	2,453

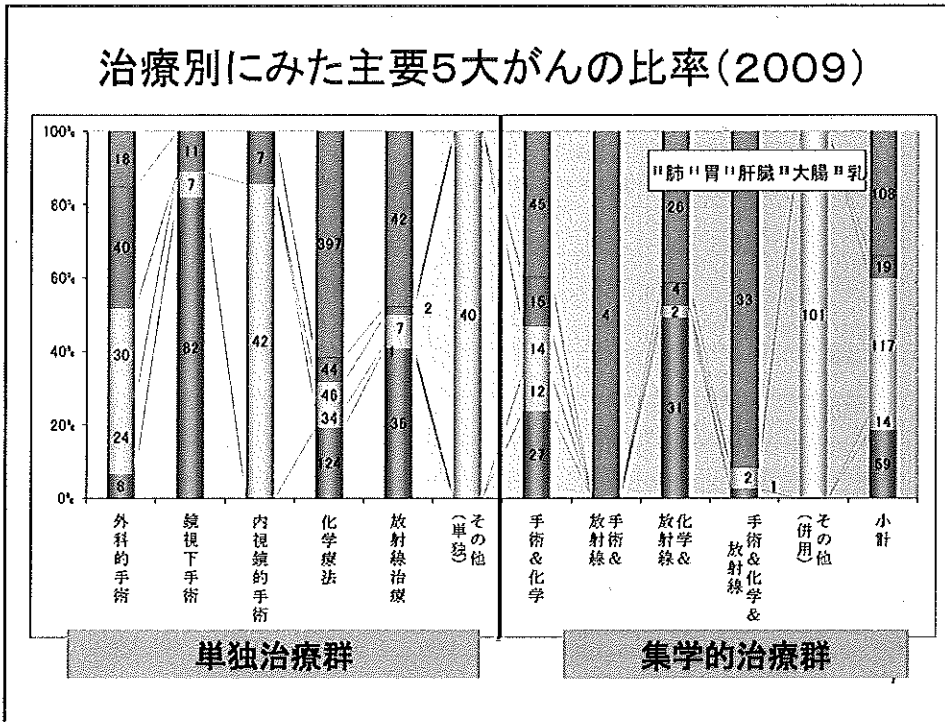
5

集学的治療の実績(2009年度)

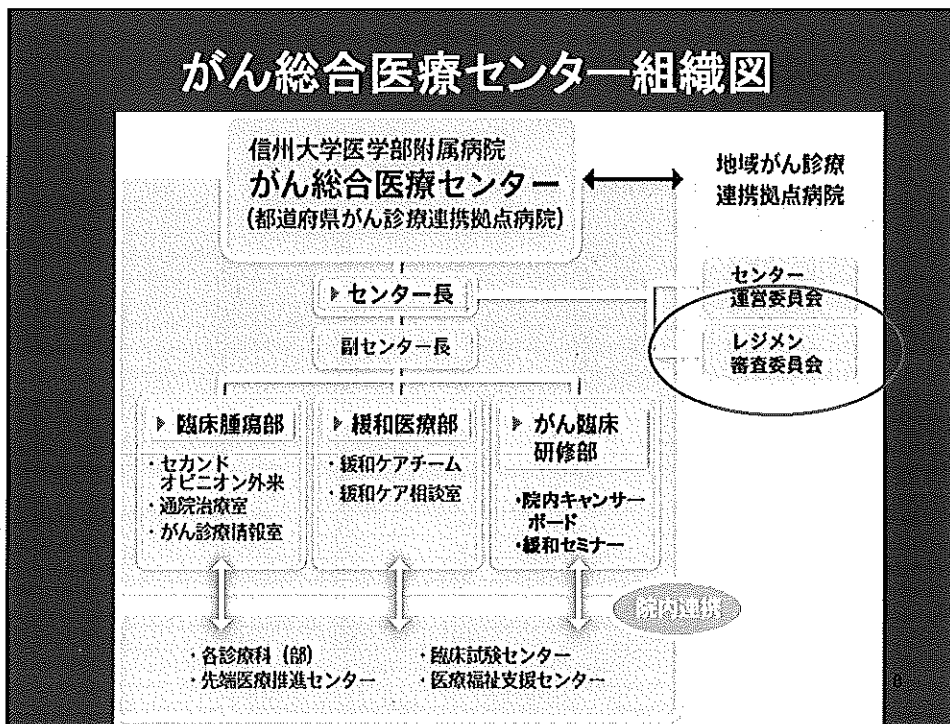
部位	併用療法					小計
	手術&化学	手術&放射線	化学&放射線	手術&化学&放射線	その他(併用)	
肺	27	0	31	1	0	59
胃	12	0	2	0	0	14
大腸	15	0	4	0	0	19
肝臓	14	0	0	2	101	117
乳房	45	4	26	33	0	108
子宮	21	2	15	0	1	39
胆嚢・胆管	18	0	0	0	2	20
すい臓	19	0	0	0	1	20
リンパ組織	4	1	21	0	13	39
白血病	0	0	2	0	20	22
食道	4	2	7	0	0	13
頭頸部	3	26	18	8	0	55
脳神経	1	2	11	8	0	22
泌尿器	27	4	16	9	3	50
卵巣	18	0	2	0	1	21
骨及び軟部組織	9	1	13	1	0	24
皮膚	6	2	4	1	0	13
その他	10	1	13	2	0	26
合計	253	45	185	58	142	681

6

治療別に見た主要5大がんの比率(2009)



がん総合医療センター組織図



レジメン審査委員会

■ 構成;

- 薬剤部長の審査委員長とし、
- 医師7名(内がん薬物療法専門医2名)
- 薬剤師2名(内がん専門薬剤師1名)
- 看護師1名(がん化学療法認定看護師1名)

■ 業務

入院および通院でのがん化学療法におけるレジメンの審査・承認・登録を行い、一方で投与方法統一の働きかけを行う

9

レジメン作成および登録作業(2009年5月より)



- レジメンと妥当性と安全性の評価
- 制吐剤や点滴速度の統一化
- 休薬期間の設定
(登録レジメン運用中は他の抗がん剤投与不可)
- システム上
登録抗がん剤の投与量以上の入力は不可
減量時(80%以上)の指示には、理由記載を義務化
投与量換算方式の統一化

レジメン登録
現在までに181レジメンが登録

10

レジメン申請書

The image shows a screenshot of a medical regimen application form. It includes fields for patient information (name, ID, date of birth, sex, blood type, etc.), a table for treatment schedule (date, time, drug name, dose, route), and a section for drug details (drug name, dose, route, frequency, etc.).

診療科、適応疾患、レジメン名

投与スケジュール

点滴および投与内容

最終的にいずれの業務端末からも
閲覧可能

適応疾患、投与基準、減量基準、
参考文献

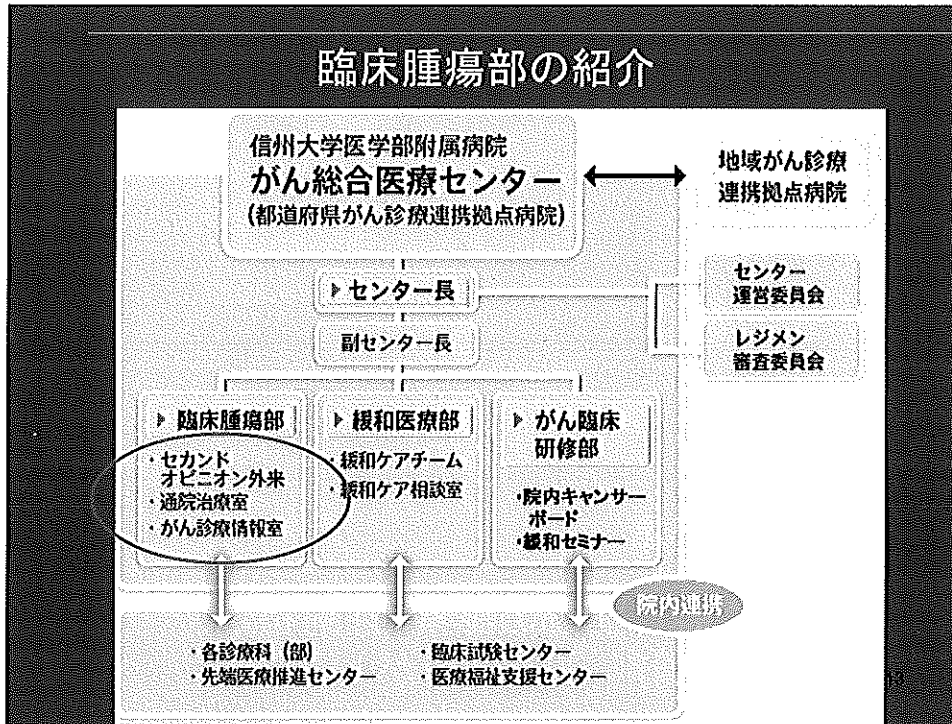
院内制吐剤適正使用ガイドライン作製

The image shows a screenshot of a guideline document titled "がん化学療法における制吐剤適正使用ガイドライン" (Guidelines for the appropriate use of antiemetic drugs in cancer chemotherapy). The document is divided into several sections, including "目的" (Purpose), "対象" (Target), "適正使用の原則" (Principles of appropriate use), and "具体的な使用法" (Specific usage). It includes text and diagrams illustrating the use of antiemetic drugs.

制吐剤に対する適正使用を院内共通で行うため
診療従事者全員に配布

少しでも悪心嘔吐で苦しむ患者を少なくする試みを各医療人が心掛ける体制作り

臨床腫瘍部の紹介



通院治療室 (長野県松本旭町庁舎3階) (リクライニングベット16床、ベット8床)



スタッフがすべての患者を
観察可能な配置

通院治療室で診察室 および薬剤調剤室

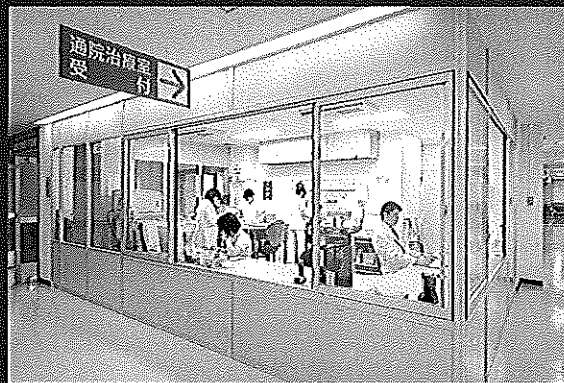


診察室4部屋

無菌調剤室

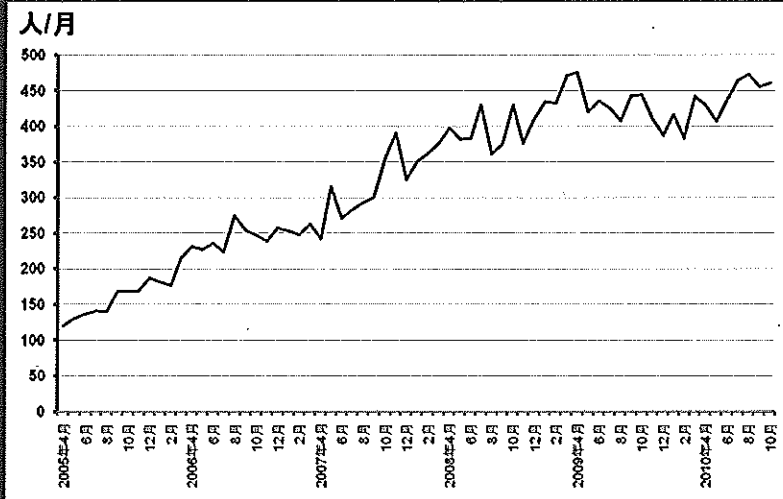
検査(採血)、医師の診察、注射指示、
薬剤師の調剤、投与までがより円滑に

通院治療室の運用



受付 → 採血 → 診察 → 治療 → 会計
すべて通院治療室内で可能
患者用駐車場も近隣に確保

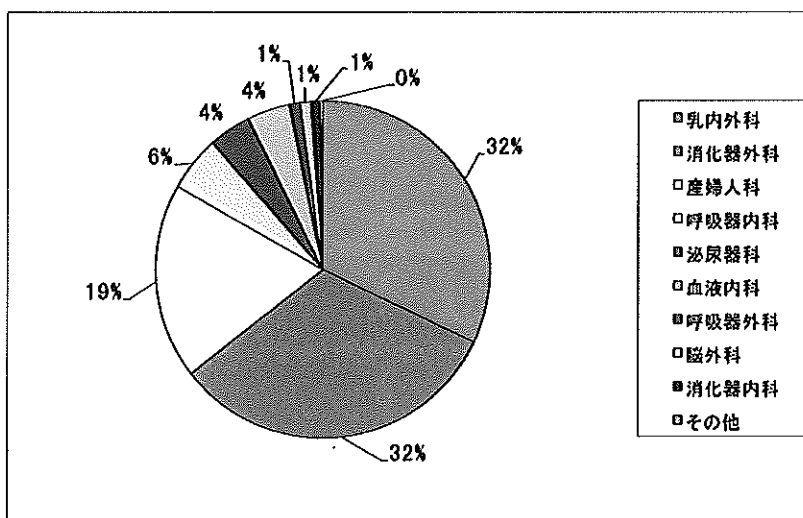
信州大学附属病院 通院治療室 月別利用患者数の推移



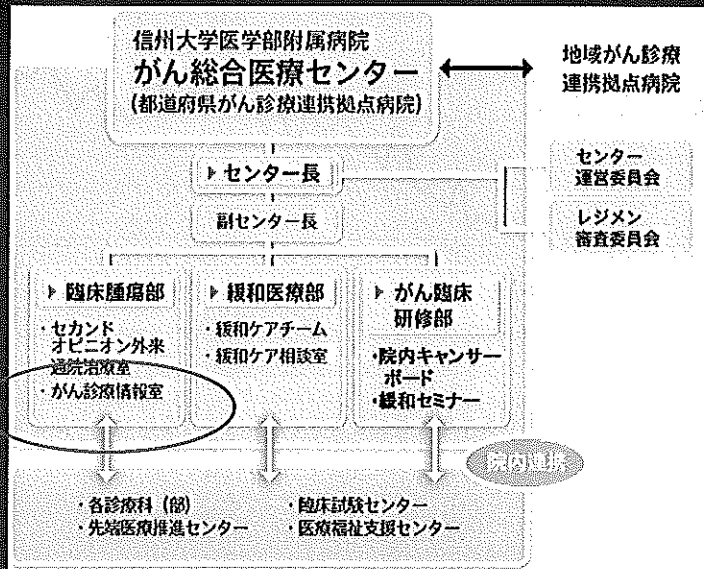
年間利用者数

2006年	2,693人
2007年	3,863人
2008年	4,882人
2009年	5,089人

診療科別通院治療室 利用者比率(2009年)

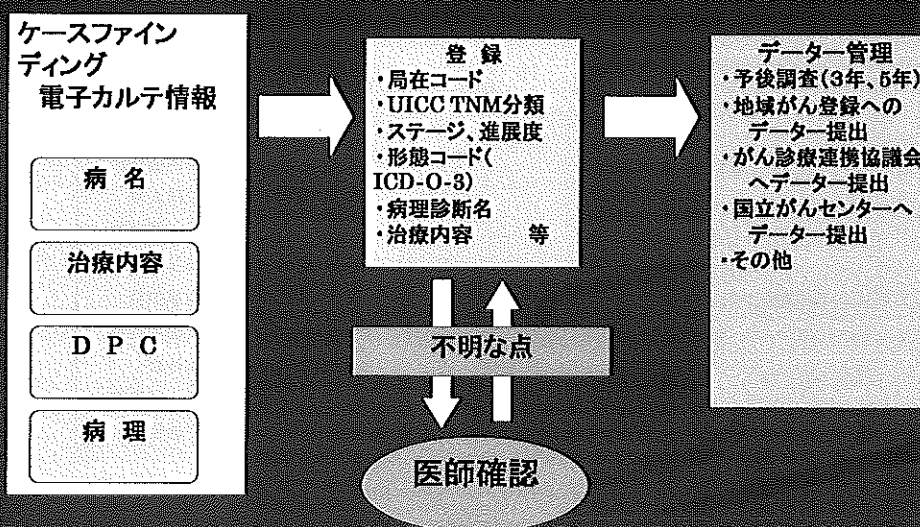


がん総合医療センター臨床腫瘍部 (がん登録事業の紹介)



19

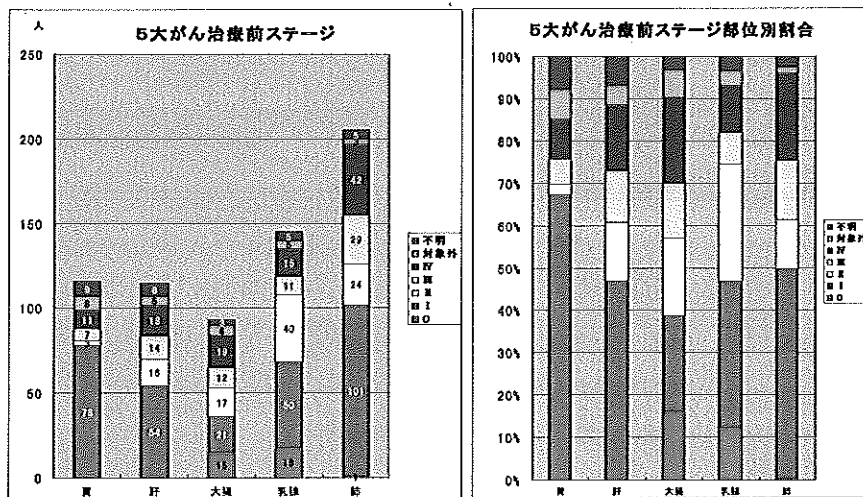
院内がん登録 運用フロー



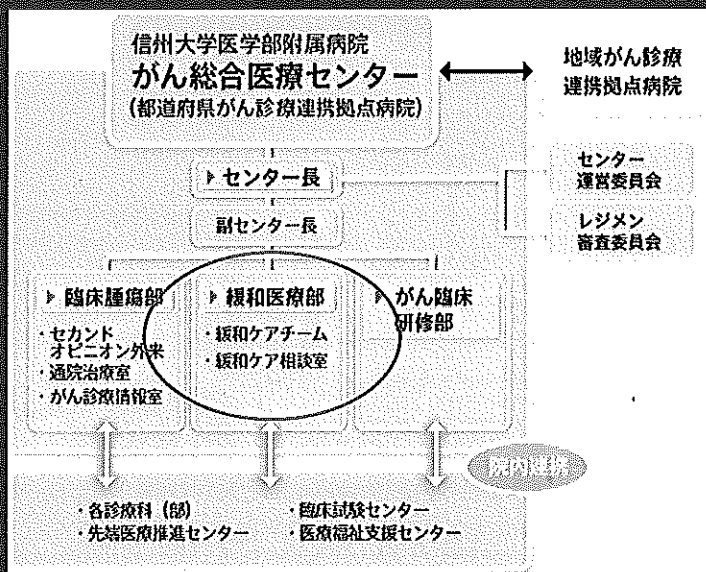
20
20

院内がん登録結果(2009年)

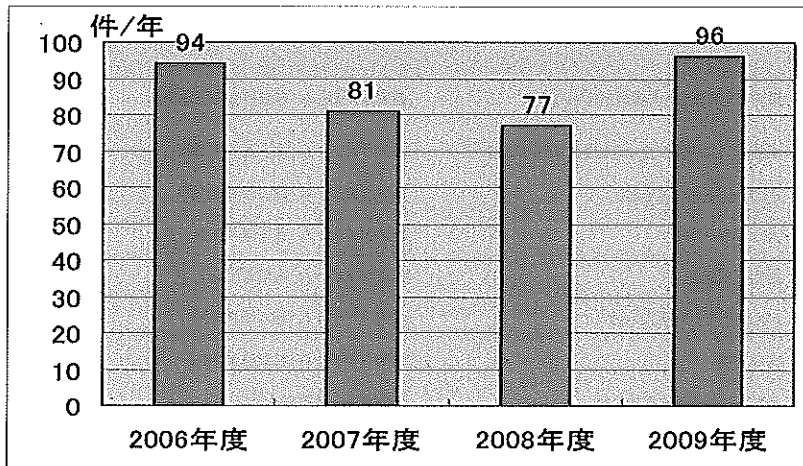
信州大学医学部附属病院 5大がん治療前ステージ



がん総合医療センター(緩和医療部の紹介)



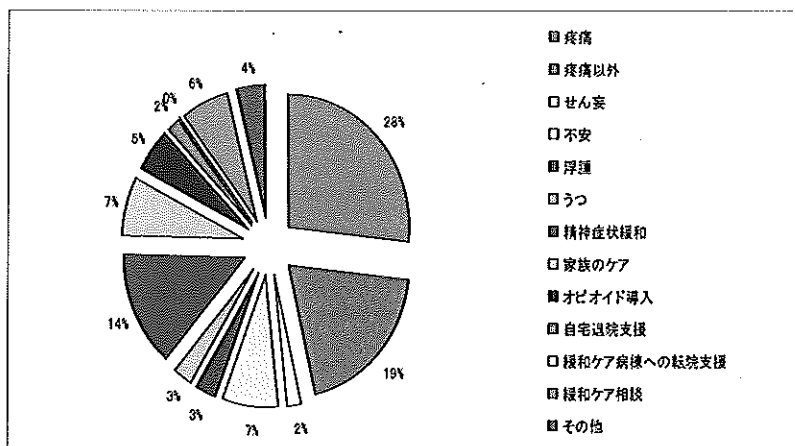
緩和ケアチーム 年度別患者依頼件数



ほぼ全診療科からの依頼を受けている

25

緩和ケアチーム 依頼内容(2009年度)

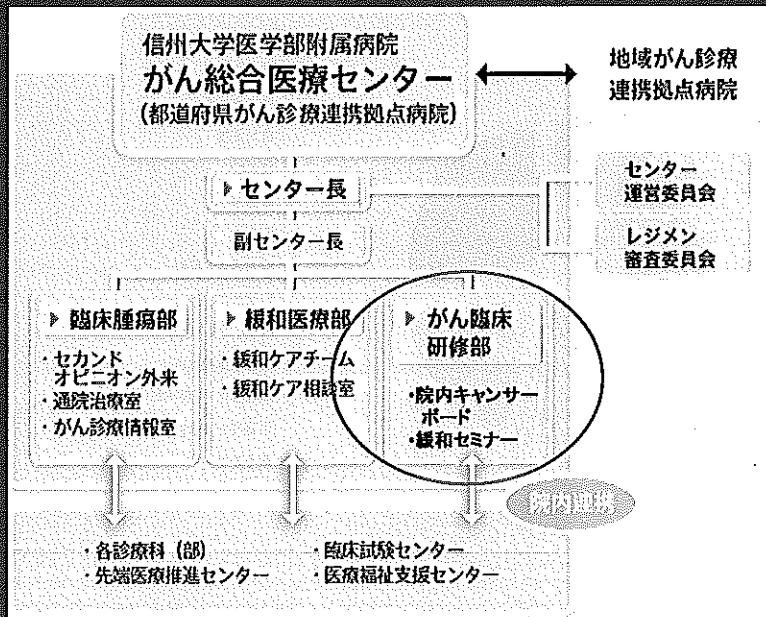


26

緩和チーム主導の院内勉強会 2009年度分

日時	テーマ	講師	参加者数
5月14日	緩和ケアの概念と苦痛のアセスメント	緩和ケアチーム 伊藤紗弥香看護師	29人
6月28日	疼痛コントロールに用いられる基本的な薬剤	緩和ケアチーム 坂下真大薬剤師	37名
7月9日	オピオイドを開始するとき	緩和ケアチーム 越由香里看護師	19名
8月6日	コミュニケーション	緩和ケアチーム 萩原朋美医師	14名
9月10日	緩和ケア様態	緩和ケアチーム 高橋敬医師	19名
10月8日	がん性疼痛と神経ブロック	緩和ケアチーム 坂本明之医師	24名
11月19日	在宅支援	緩和ケアチーム 仁科直美MSW	13名
12月10日	骨転移に対する放射線治療	放射線科 藤田充功医師	21名
1月28日	ホスピス病棟における緩和ケア	山梨県立中央病院緩和ケア科 許山美和医師	17名
2月18日	一般病棟における緩和ケア看護～看護の役割と実践～	筑波大学附属病院 馬場玲子看護師	18名
			27

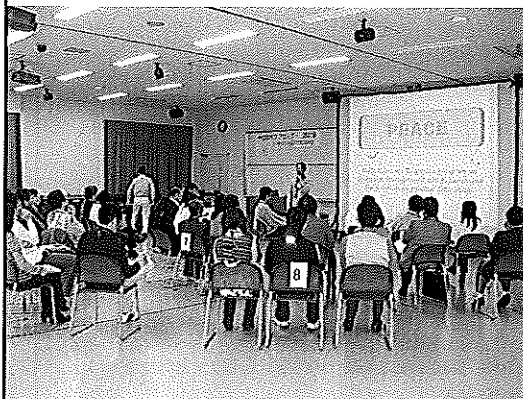
がん診療拠点病院(研修部門の紹介)



信州大学附属病院主催の地域緩和セミナーの開催

(平成22年8月28-29日)

医師 23名
(内近隣医師会から7名、研修医5名)
看護師 5名



信州大学附属病院がんセンターボードの開催



平成21年度は、
主要5大がんと緩和医療について計6回の公開講座形式で開催

信州大学附属病院がんセンターボードについて

- がん患者さんに対する診断・治療に総合的に取り組む医療人の姿勢を養う
- 各臓器別がん種毎の診療科間の診療連携のみならず、院内全体で職種間の連携および情報交換の重要性の認識
- 院内職員に対するがん診療への啓発活動
- 一般の方々に対するがん診療への啓発活動

31

病 院 長



がんセンターボード運用ワーキングチーム



院内がんセンターボード
定期講演会
定期症例検討会
臨時召集症例検討会

領域別がんセンターボード

(各臓器のがんに対する内科・外科・放射線科・病理医などによる定期開催の症例検討会)

32

院内がんサーボード平成22年度の開催予定

	日程	テーマ	担当
第1回	7月2日	がん臨床研究の最前線, ASCO 2010学会からの報告	呼吸器内科、乳腺外科、消化器外科
第2回	9月17日	婦人科がんの診断と治療	婦人科
第3回	10月22日	院内CPC	病理
第4回	11月26日	症例検討会(泌尿器科)	西6病棟担当
第5回	12月3日	骨転移に対する治療	放射線科
第6回	1月	症例検討会(婦人科)	東4病棟担当
第7回	2月	樹状細胞免疫療法	輸血部
第8回	3月	症例検討会(消化器外科)	西2, 5病棟担当

33

一般公開

臨時召集症例検討会

- 各臓器別がんサーボードでは解決できない症例
- 原発不明がん
- 多発がんで治療方針に困惑するケースなど



- 担当医がこの臨時召集症例検討会担当医師3名いずれかに直接連絡
- 窓口担当医師が、開催日を早急に決定し、がんサーボードワーキングチームを召集

34

がん総合医療センター(研修活動の実績)

医療人育成の研修業務実績

- がん専門薬剤師研修の受け入れ(H21年度2名)
3か月間の実習・講義・研究遂行の研修
- 長野県がん看護実務者研修の受け入れ
(H20年度9名、H21年度6名)
40日間の実習・講義の研修
- 院内がん看護研修会の定期開催
H21年度;事例検討会 4回
看護スタンダード勉強会 4回

35

医療福祉支援センター

地域医療連
携支援室

総合医療相
談室

こまくさ
図書館

- 地域連携パス
- セカンドオピニオン外来
- 患者会の開催・継続
- がんサロン
- ボランティア活動の受け入れ

36

地域連携パスの運用について

- 共有する診療計画書、診療録および“私のカルテ”は腫瘍5大がんにおいて作成済み
- 来春から関連医師会へ広報を開始し運用する予定

当面の対象患者

- 術後無治療で経過観察などがん診療自体の負担が軽微な患者さん
- 基礎疾患を有し元来のかかりつけ医を有する患者さん

37

術後経過観察および検査スケジュール

肺がん術後（経過観察および検査）スケジュール 手術日： 年 月 日（腫瘍番号： ）

検査予定日	12月	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
腫瘍・検体診	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
血液・生化学	●	●	●									
CEA・CYFRA	●	●	●									
胸部レントゲン写真	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
胸部CT検査				●	●	●	●	●	●	●	●	●
胸CT・AFP検査				●	●	●	●	○	○	○	○	○
PEY検査	(V-カ-検査は) 肺がん術後患者の場合に実施します。											

● 検査実施日：○は実施予定日
● 検査実施日：○は実施予定日
● 検査実施日：○は実施予定日

検査項目	検査実施日	検査実施場所
腫瘍・検体診	12月	12月
血液・生化学	12月	12月
CEA・CYFRA	12月	12月
胸部レントゲン写真	12月	12月
胸部CT検査	12月	12月
胸CT・AFP検査	12月	12月
PEY検査	12月	12月

検査実施場所：● 当院 ● 連携医師 ● 連携施設 ● 連携施設

検査実施日：● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月

検査実施場所：● 当院 ● 連携医師 ● 連携施設 ● 連携施設

検査実施日：● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月 ● 12月

連携医師： _____
 連携施設： _____
 連携施設： _____

共同診療計画書（“私のカルテ”医療者記入用）

共同診療計画書（がん相談） 印刷履歴

患者氏名: _____ 性別: _____ 年齢: _____ 病名: _____ 手術: _____ 検査: _____

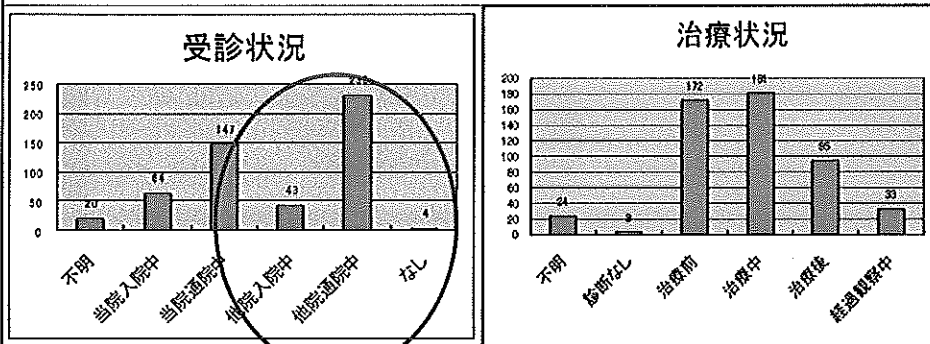
医師: _____ 看護師: _____ 薬剤師: _____

項目	2019年度												2020年度												2021年度											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
がん相談																																				
面談																																				
電話																																				
その他																																				
総数																																				

がん相談実績

	2007年度 (平成19年)	2008年度 (平成20年)	2009年度 (平成21年)
面談	104	191	196
電話	113	292	326
その他	0	9	7
総数	217	492	528

がん相談状況



他院の関係者からも相談例を受け入れている

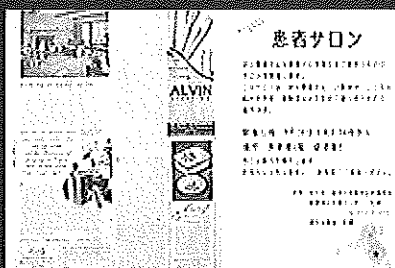
41

セカンドオピニオン外来実績

	実施数	がん
2007年度 (平成19年)	85	60
2008年度 (平成20年)	75	53
2009年度 (平成21年)	87	64

42

がん患者サロン開催の広報



がん患者サロン

- 2010年7月より、毎月1回開催。
2部構成で14時から16時
第1部は、語り合い
第2部は、イベント(レクレーション)
- 毎回5名ほどの参加。現在まで女性の参加者のみ
- イベントは、音楽療法、ハンドマッサージ、太極拳など行ってきた。

患者支援活動

『信大リボンの会』

乳がん患者の会で患者同士の交流、情報交換の機会を提供し、患者指導も行う患者会



10年間以上継続し、本年7月3日『がんに負けない社会づくり長野県民大会』において県より表彰される

45

ボランティア活動の受け入れ

がん診療に関するもののみを提示

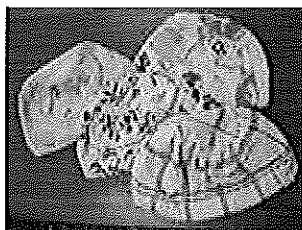
■ ぼうしの会

会員25名で、化学療法などの治療に関する頭髪に悩みを持つ患者さんに手作りの帽子を提供し、大変好評を得ている

■ 朗読の会

会員8名で、長期入院している小児を対象に毎月第4月曜日に朗読会を行っている。

10年近く活動を継続している



46

特定機能病院・県拠点病院の要件

放射線療法部門

化学療法部門

他のがん診療連携拠点病院の医師等対象の高度ながんに関する研修

他のがん診療連携拠点病院へ診療支援を行う医師の派遣

他のがん診療連携拠点病院に対し情報提供・症例相談・診療支援の実施

がん診療連携協議会の設置

県内の病院からの

院内がん登録のデータの集積・評価・分析

セカンドオピニオン外来の一覧の作成・共有・広報

県内のがん拠点病院地からの

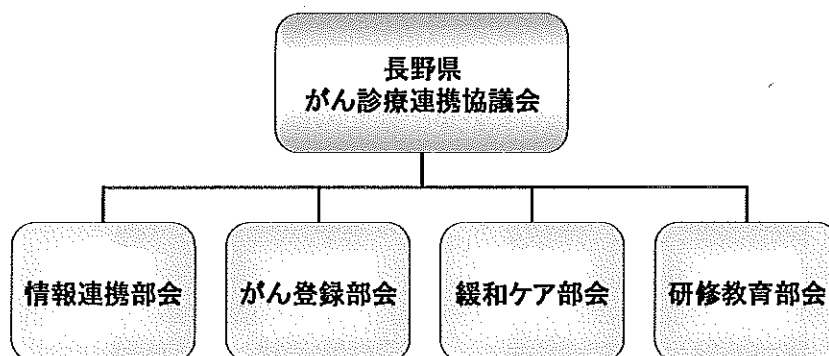
域連携クリティカルパスの一覧の作成・共有

緩和ケア研修会、その他各種研修に関する計画の作成

47

長野県がん診療連携協議会

- 協議会の運営を円滑に行うため、部会を置き、年1回協議会を開催する



48

都道府県がん拠点病院としての 信州大学附属病院における今後の課題

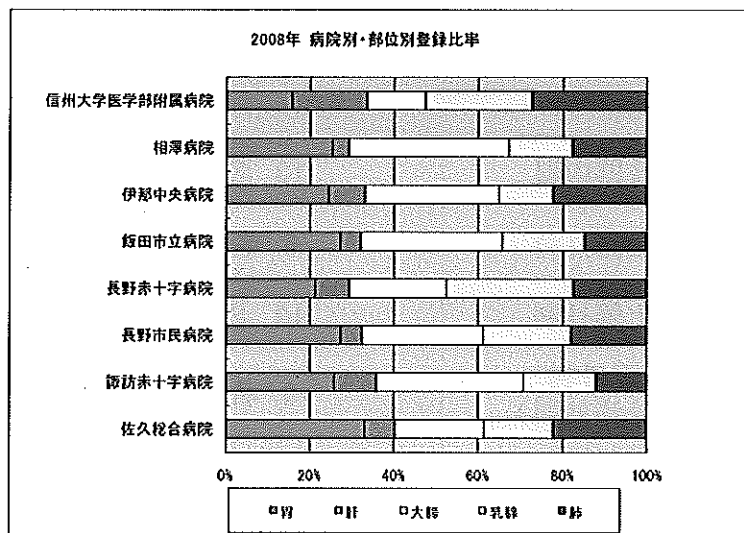
■ 地域がん拠点病院との情報の共有と提供

- ・がん診療の実績
- ・院内がん登録、
- ・地域連携パス
- ・セカンドオピニオン外来などの運用状況など

■ がん医療人の育成

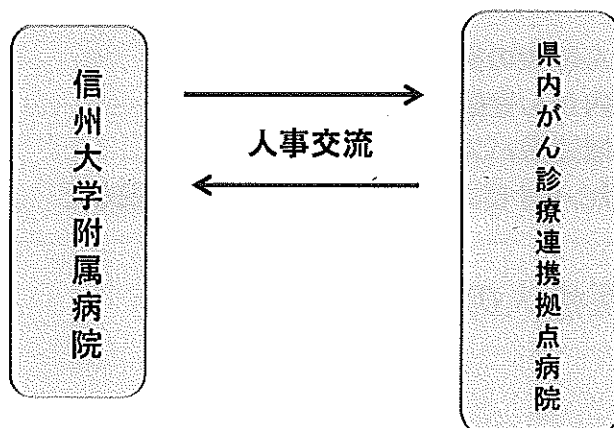
49

県内がん拠点病院における主要5大がんの比率 (2008年)



50

信州大学附属病院と県内病院との医師人事交流



51

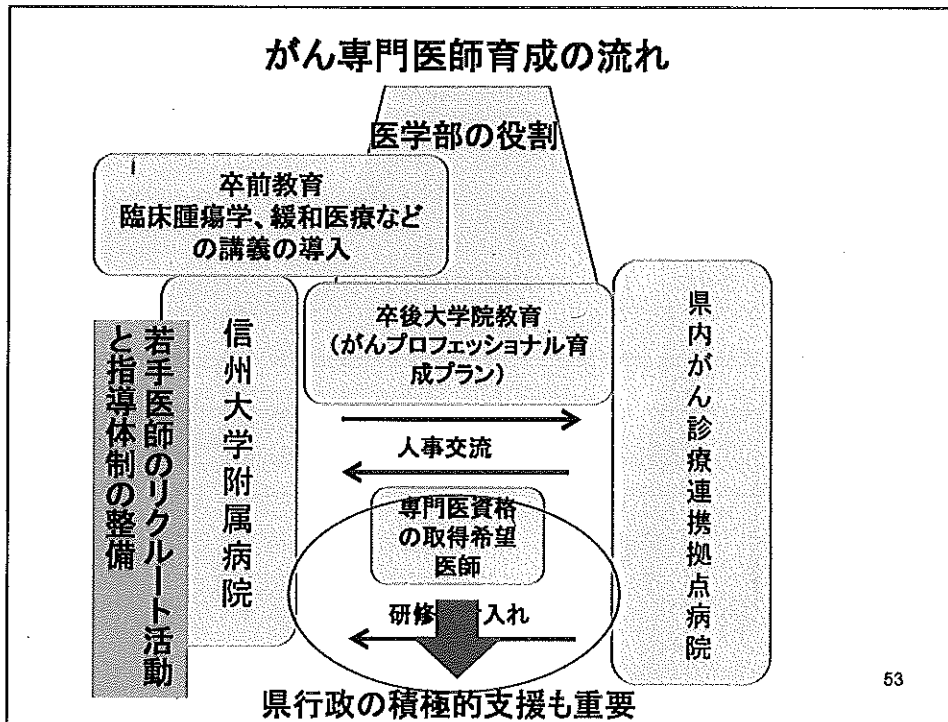
信州大学附属病院で主にごん診療にかかわる診療科から県内地域がん拠点病院への医師派遣人数

信州大学 附属病院	県内地域がん診療連携 拠点病院
呼吸器内科	13 名
呼吸器外科	6 名
消化器外科	13 名
乳腺外科 (内分泌外科)	9 名
放射線科 (治療部門のみ)	5 名

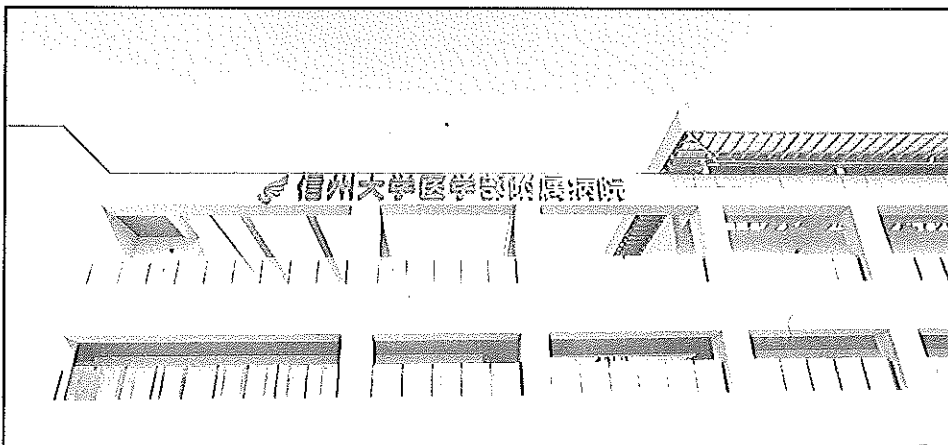
52

(2010年12月現在)

がん専門医師育成の流れ



53



信州大学附属病院では、都道府県がん診療連携拠点病院として、関係諸施設と連携協力して、がん患者さんへの安心して診療を受け入れられる診療体制の構築に努力していきます

